

学生作文を中心題材とし簡潔表現に徹する

日语 作文

写作指导

日语讲师 木下崇◎著
客座教授

 大连理工大学出版社

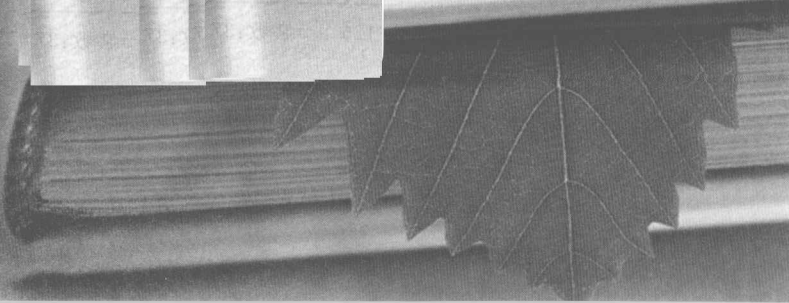
学生作文を中心題材とし簡潔表現に徹する

日语 作文 写作指导



日语讲师 木下崇◎著
客座教授

大连理工大学出版社



图书在版编目(CIP)数据

日语作文写作指导 / (日) 木下崇著. — 大连 : 大连理工大学出版社, 2010.5

ISBN 978-7-5611-5502-8

I. ①日… II. ①木… III. ①日语—写作—自学参考资料 IV. ①H365

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2010)第 065137 号

大连理工大学出版社出版

地址:大连市软件园路 80 号 邮政编码:116023

发行:0411-84708842 邮购:0411-84703636 传真:0411-84701466

E-mail:dutp@dutp.cn URL:<http://www.dutp.cn>

大连理工印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸:140mm×203mm 印张:15.125 字数:376 千字
印数:1~3000

2010 年 5 月第 1 版

2010 年 5 月第 1 次印刷

责任编辑:宋锦绣

责任校对:刘元春

封面设计:李 雷

ISBN 978-7-5611-5502-8

定 价:32.00 元

はじめに

私は、2000年2月から中国・長春で日語講師を始め、それから、全国を回りながら、主に日語講師をやっている。その中で、私が最も力を入れてきたのが「日語作文」。作文は、地味な仕事で、学生の書いたものを読んでいると、時間ばかりかかって、本当に成果は少ない。だが、塵も積もれば山となる。9年間の作文指導で、模範作文として取上げた学生作文は、その数は数え切れない。その中から、思い出深い作文を選んで、ここに、作文教本を作ることにした。

以前の拙著にも学生作文を取上げた。が、「匿名の学生」では、内容がどこことなくよそよそしい。考えてみると、例文は優秀作文であり、名を掲げた方がむしろその学生にとっては名誉の筈だ。差し障りのない物について、実名を挙げて本人の名誉を讃えようと思う。そういう方針で、この作文教本を創る。ちなみに、私が湖南省に滞在中には日本語作文大会があり、私の指導生が頑張ってくれて、2007年度には1位に、2008年度には2位に入賞した。これにより、私も大いに自信が持てるようになった。私も礼を言いたいくらいだ。

少し不満を言うと、この本を著作後、出版社の意向で、一部編集し直しし、200頁近く圧縮した。そのために、いくらか読みにくくなった所がある。

どのように、作文するか。難しい。だが、中国学生諸君、中国語と日本語を比較してくれ。語順がよく似ているだろう。それも、そうなんだ。ウン万年前は、日本語も中国語も海洋語の流れを汲み（私説）、意思表示の発想が同じなのだ。そして、2、3千年前からは、日本に大量の中国語が流れ込んで日本語の原形ができた。そして、長らく日本の政権関係を表す公文書は中国語で書かれた。こんな事を考え巡らすと、日本語は、中国語と僅かの語順の違いがあるだけで、殆ど一緒だと言ってもいい。だから、君たち学生は、中国語を書くのと全く同じ要領で日本語を書けば、それが、そのまま日本語作文になる。大丈夫だ、頑張ってくれ。

いや、そんなことはない。英語の方が易しいと言う学生もいる。が、日本語が難しいのは、「助詞」で、「助詞」の基本的な意味が分かれば、やはり易しい。とにかく、語順を考える必要がないのだ。とは言え、やはり「助詞」は難しい。それは、「文法」に拘り、助詞の「意味」を考えないからだ。私は、助詞の機能と意味を拙著「日本語理論（読下し中心）」「日本語の解明（理論中心）」に詳しく書いておいた。参考にさせていただきたい。私事を言うと、私は60歳を過ぎてから中国語会話が上手になってきた。中国語と日本語を融合する理論が、段々見えてきたからだ。

私は、もう十年近く、日本語と中国語の関係を研究している。最初は、はっきりとは分からなかったが、最近、アジア人の発祥とその移動をあれこれ想像していると、日本語と中国語は、共に同一の海洋語を祖先として持ち、その後、日本語は、「助詞表現」が完成して「古日本語」となり、他方、中国語は、「文字の発明」により、「介詞表現」に変化し「古中国語」になった、と自信を持って主張できるようになった。何故かという、中国語の話し言葉には、多くの「助詞」が残っており、特に上海辺りの方言は、発音だけでなく語彙も、日本語とよく似ているからだ。

なぜ、私が、そんなことを言うのか。他でもない、日本語と中国語には、大きな共通性がある、と言いたいからだ。君たち中国学生諸君、この共通性を考えることが、日本語の理解に大いに助けになる筈だ。尤も、日本語からは反対になる。こんな知識が、必ずや日本語作文に役立つはずだ。

最近、日本語表現は、大きく変化している。英語の影響だ。文法事項で言うと、「可能動詞」「移動動詞」では「が」「を」の使い方が「が→を」に変わりつつある。形式面で言うと、語尾が冗長化してきた。日本語は、言葉尻に、いくらでも言葉を付加できるからだ。また、これに伴

い、中国語では「会」「得」一文字でできる表現が、「することができる」「しなければならない」などと長くなり、さらに、文末だけでなく、文章中でも「です・ます」調で書くようになり、敬語、丁寧語も増えてきた。そのため、表現文字数が2、3割も増えた。作文では、私は、むしろこのような言葉を省くことこそ、歯切れよく、力強く、そしてまた、明解な表現ができることに気付いた。実は、中国学生の文から分かったことだ。こんな事が、意外に作文を書く際に役立つ。

この本が少しでも君たちの作文能力を磨くのに役立てば幸いだ。

木下崇

ii.juku@yahoo.co.jp

2009.6

前言

我自2000年2月开始在中国长春担任日语讲师，之后在全国各地都主要从事日语讲师的工作。而其中我最倾注精力研究的是日语作文。作文是一项朴素的工程，刚开始的时候读学生写的文章，只是一味地花费时间，成果真的很少。但是，随着日积月累地经营，在这九年的作文指导中，被评为模范作文的学生数之不尽。而我正是从印象深刻的作文中选出一些作为本书的样本。

在我以前的拙作里也曾经采用过学生的作文，但都是以匿名的形式发表的，这使得这些学生的作文内容总让人感觉很疏远。试想之后，既然是优秀的作文，那为什么不提到名字呢？这样对学生自身来说也是名誉。并不讳言地说，提到真实的名字是想赞美学生本人。以此为方针创作了这本作文教材。我在湖南省从教期间经历过日语作文大会，我所指导的学生很努力，在湖南省作文大赛中分别获得2007年度第一名和2008年度第二名。因此，也给了我很大的信心，甚至想对他们表示感谢。

虽说有些遗憾，这本书已按出版社的意向重新修改，压缩近200页。因此，可能会有比较难读的地方。

如何写作文呢？难！但是，中国的学生们可以先比较一下汉语和日语。语序很相似吧！的确如此。在几万年前，日语和

汉语都是汲取了海洋语的流派（已见），意思表达的构思是一样的。而且，从两三千多年前开始，大量的汉语流入到日本，即日语的原形。然后，很长一段时间表示日本政权关系的公文书都是使用汉语书写的。回头想想的话，日语和汉语仅仅在语序上有些许差别，其他可以说是一样的。所以，你们可以完全按照汉语的要领来写日语作文，那便是日语作文。没关系的，请努力！

但有时会有学生说英语的作文比较好写。其实，日语作文之所以难是因为助词的使用，如果能明白助词的基本意思的话也还是简单的。总而言之，没有必要考虑语序。当然，助词之所以难以掌握是因为学生一般都拘泥于语法，不会考虑助词意思造成的。我将助词的功能和意思都详细写在我的拙作《日本语理论（通读中心）》和《日语的阐明（理论中心）》两本书中了，希望大家可以参考。说件私人的事，我是在过了六十岁之后汉语口语才变好的。那是因为我渐渐体会到了汉语和日语要相互融合的道理。

我研究日语和汉语的关系已将近十年。最初并不是十分清楚其中奥妙，最近想像着一系列亚洲人的发祥地和到处移动的画面，断定日语和汉语都是以海洋语为祖先的。只是在那之后日语渐渐完善助词的表现，变化成古日语，而另一方面，中文通过文字的发明，形成了介词表现，最后演变成古汉语。为什么呢？因为汉语的会话中留存着很多助词，特别是上海方言，不仅发音，词的用法和日语也很相似。

我为什么这样说呢？只是想说道日语和汉语有很多的共通点。如果你们能够考虑到这个共通性，对日语的理解应该会有很大的帮助，对日语作文的写法也肯定能起到作用。

最近，日语的表达发生了很大的变化，可能是因为受到了英语的影响。语法方面来说，可能动词和移动动词中「が」「を」的使用方法逐渐变化成「が→を」。形式方面来说，句尾有些冗长了。例如，在中文中“会”“得”这两个文字，一个字就能将意思表达出来，而日语中则需要使用「することができる」「しなければならない」这样的长句。不仅句末，文章中也开始出现很多「です・ます」这样的敬语。可以说文字的表现量增加了百分之二三十。作文中我宁可省略这样的词汇，注意使用贴切、有力而且明了的表现方式。这些其实是从中国学生的句子中体会出来的。而这种情况的出现也对作文的写作有着意外的帮助。

这本书如果能稍微对你们作文能力的培养起到作用的话，那真是我的荣幸！

木下崇

ii.juku@yahoo.co.jp

2009.6

目次

第1章 日本語と中国語(私説)

1. 海洋語と大陸語	1
海洋語の分化 … 仮説	3
言語発想の類似性	9
2. 音韻と感情	10
感情語、重要語は、強声に	11
感情を和らげるには、曖昧音に	13
語末・文末の情緒 … ここは、中国語も似ている	15
文章の品格 … できるだけ簡潔に、曖昧さのない表記で	17
3. 技術をもたらした渡来人	18
稲作と仏教の伝来	19
技術の伝来	22
漢詩・漢文	23

第2章 作文表現の基本

1. 格付け「て、に、を、は」と拡大	26
i 助詞「て、に、を、は」… 日本語表現の基本道具	27
ii 助詞の拡大 … 「が、は、も」「が、の、な」 「と、や、も」「に、へ」などの態様	30
iii 「状況表現」… 「で」と「動詞 で (/て)」、更に拡大	39
iv 「呼応関係」… 段々減ってきた。だが、頭の中では使うように …	46

2. 表現の視点、態、時制、軸足	48
i 「態」の表現 …「能動・受動」さらに「主題は何か」	50
ii 「時制」の表現 …「現在形（辞書形）」「過去形」	
さらに「未来表現」	54
iii 「軸足」の表現 …「誰のこと（中心は何）が書きたいのか」	55
(例文 1) 優れた職人	56
(例文 2) 物語や小説の庶民性	57
3. 文頭と文末	60
i 文頭の書き方	61
ii 文末の書き方	67
4. 「点」と「丸」	71
(例文 3) 限りある資源の回収	72
(例文 4) 私の後悔、喧嘩	73

第3章 基本例文の検討

1. 比較的短い文の検討	76
(例文 1) 公園で噛みついてきた犬	76
(例文 2) 熱心に本を読んでいて	77
(例文 3) 資源回収が 80% に	78
(例文 4) 風邪には効かないこの薬	79
(例文 5) 熱帯風カレーを作ろう	80
(例文 6) 昨夜から降り始めた雪	81
2. 少し長い文の検討	83
(例文 7) 試合が始まりそうな野球場	83
(例文 8) 偽造が増えたカード支払い	86
3. 物語文の検討	90
(例文 9) バスコ・ダ・ガマ	90
(例文 10) 吉田松陰	95

4. 論説文の検討	101
(例文 11) エビ養殖と現地産業	101
(例文 12) 冥王星、大気温度が上下逆転している	105

第4章 書けるぞ、1年後の作文

1. 初めての者にも、日本語だけで	112
(例文 1) 日本語の勉強	応生妃(1後) 112
2. 日本人と学生の交流	119
(例文 2) 新型肺炎と中国の旅行業界	周剣平(1後) 119
(例文 3) 中国のサービス業	史 瑩(1後) 124
(例文 4) 幸福は、どこにでも	万 瑛(1後) 128
3. 修了時作文の最優秀	133
(例文 5) 中国の経済発展思考	羅飛雁(1後) 133

第5章 日常生活（吉大）

1. 初めての大学（吉林大学）	146
(例文 1) お風呂屋さん	尹 虎(2後) 147
(例文 2) 母の日	徐 敏(2後) 153
(例文 3) 癌で逝った忘れられない人	任 麗(2後) 157
2. いや、そんな寒い所じゃなかった	164
(例文 4) 結婚式、習俗と幸福	曲煥梅(2後) 164
(例文 5) 夏休み、あの日も激しい驟雨だった ...	尹 虎(2後) 169
(例文 6) 長春は第二の故郷に	蔡鳳蓮(2後) 178

第6章 社会生活（湖南農大）

1. みんなが、作文上手になった	183
(例文 1) 私が好きな歴史人物	閻世沢(3後) 183

(例文 2)	中国の都市生活	朱衛君(3 後)	186
(例文 3)	湖南の気候	李 錦(3 後)	190
2.	加速してきた長沙の発展		194
(例文 4)	長沙の産業	談旭瑩(3 後)	195
(例文 5)	気候と人間活動	許 燦(3 後)	199
(例文 6)	高校生活を振り返って	李 琴(3 後)	202
3.	やはり、背景の景色は残したい		208
(例文 7)	中国の経済・将来	李 琴(3 後)	209
(例文 8)	沿岸部の経済発展	楊 梅(3 後)	214
(例文 9)	中国中央平原の気候と生活	謝 琚(3 後)	217
4.	日本文化祭、これは遊びではなかった		222
(例文 10)	中国の中高一貫教育	賀光虎(3 後)	223
(例文 11)	世界と中国、公衆道德の対比	何霖琳(3 後)	227
(例文 12)	浙江省の経済形態	李海娟(3 後)	231

第7章 随筆の要約・寸評

1.	春は、駆け足だった		236
(例文 1)	日本の会社員は働きバチ	李 華(3 前)	239
(例文 2)	車を5台、所有してます	杜世鳳(3 前)	241
(例文 3)	海ガメの無念	李 月(3 前)	243
2.	照りつける太陽、そこでの軍事訓練		246
(例文 4)	物よりも心のお歳暮を	汪 丹(3 前)	246
(例文 5)	ダイレクトメールを断ろう	杜世鳳(3 前)	249
(例文 6)	学生に、車は必要か	趙小平(3 前)	253
3.	西域へ旅行してみよう		258
(例文 7)	アジアとの共生	王麗歆(3 前)	258
(例文 8)	木の枝	趙 晶(3 前)	262
(例文 9)	感動したある人の運動	李海娟(3 後)	267

第8章 随筆・論文の論評

1. 私は、視野が広がって	275
(例文 1) 少年の日の思い出	杜世鳳(2後) 275
(例文 2) フシダカバチの秘密から	杜世鳳(2後) 281
2. 湖南省とは、有名人多出の地だ	288
(例文 3) 外国人力士の活躍	劉宏瑩(2後) 288
(例文 4) 日本経済の国際競争力	陳 寅(2後) 292
(例文 5) 企業での昼寝の習慣	趙 晶(3前) 295
3. 中国中央低地は、人類涵養の地だ	299
(例文 6) 中国の建築の特徴	黄嘉欣(3前) 300
(例文 7) 中国料理はいかが(トマトと卵の炒め物) ...	金 丹(3前) 302
(例文 8) ドライブスルー	305
4. 少数民族の根源	309
(例文 9) アリと日本人	鄭 芳(3後) 310
(例文 10) 山村の老人たち	丁 博(3後) 319
(例文 11) 地上げ時代のつけ	邢有輝(3後) 326
(例文 12) 日本軍隊の反逆の原因	張 卓(3後) 333
5. 漠河とは、どれほど寒いところか	339
(例文 13) 経済競争力、日本は21位に後退	鄭 芳(4前) 340
(例文 14) 波紋を呼ぶ外形標準課税	于道光(4前) 343

第9章 論文(経済・貿易)

1. 経済原理(蘇州科技大)	348
(例文 1) 経済取引の自由と公正	349
(例文 2) 産業の空洞化と国内産業の保護	353
(例文 3) バブル経済とその崩壊	355

2. 続いて、政治経済原理	359
(例文 4) 軍事力が支配する国際経済	359
(例文 5) 経済発展と技術革新	363
(例文 6) 企業活動の自由と労働者の保護	366
3. 貿易理論 (吉大)	370
(例文 7) 第 4 問 信用状	于道光 (4 前) 375
(例文 8) 第 5 問 多国籍企業	楊 萍 (4 前) 378
(例文 9) 第 8 問 荷為替、代金回収	尹 玲 (4 前) 381
(例文 10) 第 9 問 特許権がらみの輸出	張 卓 (4 前) 384
4. 日本概況 (湖南農大)	388
(例文 11) 日本人の集団意識	楊 辰 (3 前) 388
(例文 12) 日中の政治状況を比較する	張瑕燕 (3 前) 393
(例文 13) 中国経済と日本高度期の比較	高寒芳 (3 前) 397
(例文 14) 日本と中国の国民性比較	王麗珠 (3 前) 400

第10章 卒論の紹介 (経済貿易)

1. 思い出の吉林大学	405
(例文 1) 多国籍企業の活躍	楊 萍 (4 後) 406
2. 南北民族のせめぎ合いが、黄河文明に	423
(例文 2) WTO の目指す世界市場	劉 佳 (4 後) 423
3. 北方系王朝・清	438
(例文 3) 日本・戦後経済の成長と未来	邢有輝 (4 後) 438
4. 尽きない興味・東アジア	453
(例文 4) 包装が消費者に与える影響	張 卓 (4 後) 454

第1章 日本語と中国語（私説）

1. 海洋語と大陸語

人類の第2の故郷は、インドネシアのジャワ島辺りにあるらしい（ジャワ猿人、トリニール遺跡100万年前）。これがアジア人の祖先になった。この人たちが中国大陸を始め、海洋諸島に散らばっていった訳だ。この地域は、高温多湿で、食料に困ることはない。だから、人類の拡散は、実に面白い動機に基づいていた。

有人认为人类的第二故乡好像在印度尼西亚的爪哇岛附近（100万年前的トリニール遺址上曾发现过爪哇猿人）。这些人就是亚洲人的祖先。这些人（从爪哇岛附近）向中国大陆和海洋诸岛扩散。（然而）爪哇岛附近地区高温多湿、食物充足，所以人类的扩散，实际上起因于某种奇妙的动机。

中国南海の南部一帯は浅い海。水深100m以下の所が多い。この浅い海は、ウン百万年前から、氷河期には海退により陸地になり、間氷期には海進により海になるという歴史を繰返した。この陸地をスンダランド（スンダ海洋大陸）という。うん、そうか、成る程。いくら食料が豊富でも海没すれば、住めない。つまり、スンダランドの没がポンプの役割を果たし、人類は、定期的強制的に移住させられた。北進した者は、一旦、ベトナム北方に定住したが、後から来る者に押されて、中国大陸へと移り住んでいった。東進した者は、島伝いにフィリピンに達し、ここには、日本海流（黒